

第14回 地震・地震動検討会 議事録

1. 開催日時：平成26年 2月 24日（月） 17：00～17：40

2. 開催場所：日本電気協会 4階 A会議室

3. 出席者：(順不同, 敬称略)

委員：工藤主査(日本大学教授), 久田副主査(工学院大学教授),
武村副主査(名古屋大学教授), 渡部幹事(中部電力),
野尻(北海道電力), 熊谷(東北電力) 水谷(東京電力),
徳田(北陸電力), 岡崎(関西電力), 平原(電源開発),
生玉(日本原子力発電), 佐藤(電中研), 池浦(鹿島建設),
加藤(小堀鐸研) 佐藤(竹中工務店) (計15名)
代理出席：野田(JANSI・辻代理), 石井(清水建設・壇代理) (計2名)
欠席委員：高橋(四国電力), 一徳(九州電力), 石村(中国電力) (計3名)
オブザーバー：成田(中部電力) (計1名)
事務局：井上(日本電気協会) (計1名)

4. 配布資料

資料 No.14-1 第13回 地震・地震動検討会議事録(案)

資料 No.14-2 地震・地震動検討会委員名簿

資料 No.14-3 原子力発電所耐震設計技術規程(JEAC4601-2008)及び同指針
(JEAG4601-2008)の改定について

参考資料1 平成26年度各分野の規格策定活動

参考資料2 耐震設計分科会 平成26年度活動計画

5. 議事

(1) 代理出席者及び会議定足数の確認

事務局より, 本日の代理出席者2名の紹介があり, 工藤主査によって承認された。また, 代理出席を含む出席委員は17名であり, 規約上, 決議に際して求められる委員総数の2/3以上の出席(14名以上)を満たしていることを確認した。

(2) 前回議事録(案)の確認

事務局より, 資料 No14-1に基づき, 第13回地震・地震動検討会議事録(案)の説明があり, 出席者全員への確認で承認された。

(3) 地震・地震動検討会委員の変更について

事務局より、資料 No14-2 に基づき、地震・地震動検討会委員の変更についての説明があり、出席者全員の了承で確認された。

委員の承認は次回分科会にて行われる。

・退任委員

梅木芳人幹事（中部電力）

・変更委員

辻弘一（JANSI）→ 野田静男（JANSI）

・新任委員：渡部委員から成田忠祥新任委員の推薦があった。

成田忠祥（中部電力）

今回、梅木幹事が退任されたことにより、工藤主査が渡部委員を幹事に指名され渡部委員が承諾された。

(4) 「原子力発電所耐震設計技術規程（JEAC4601-2008）及び同指針（JEAG4601-2008）の改定他について

渡部幹事より、資料 No14-3 参考資料 1,2 により「原子力発電所耐震設計技術規程（JEAC4601-2008）及び同指針（JEAG4601-2008）の改定他について説明があった。

主な意見を以下に示す。

【資料 No.14-3 について】

・具体的に審議を始めるとはどういう意味か。

→資料 14-3 にあったような検討項目について検討を進めていき、ある程度まとまった段階で検討会にて審議していく。

・スケジュール的には非常にタイトな印象を受けるが、7 頁のところ、3 月に 1 回、以降 2 カ月に 1 回の頻度で実施していくこととなるのか。

→タイトな工程になってしまうが、ある程度まとまった段階での審議を考えている。

実際の検討会の時期については、検討状況とか審査状況を見ながら調整したい。

・分担は決まっているのか。

→それぞれ作業分担は、内容によって関連する会社があるのでそこを中心に決めている。

・当面の目標は 6 月の分科会に中間報告することによいか。

→その通りである。

(5) その他

1) 次回検討会の予定

開催日時は別途調整することとした。

以上